

Rotary



ロータリー財団100周年

丸岡ロータリークラブ会報



2017/4/6 パンターナムチャイ財団の子供たちと(バンガー県タクアバ)

R I 会長テーマ

“人類に奉仕するロータリー”

Rotary Serving Humanity

— R I 会長 John F.Germ —

R I 2650地区スローガン

“夢を語り、現在いまを刷新”

Review from the future and Renew

— 2650地区ガバナー 刀根莊兵衛 —

丸岡 RC スローガン

“ Stylish & Dynamic ”

絆なメンバーと躍動するクラブを目指して

— 丸岡 RC 会長 山下健治 —

会長の時間

会長 山下健治



クラブ会長を終えるにあたり

2016-2017 年度、1 年間丸岡ロータリークラブの会長を務めさせて頂き、他のクラブのメンバーをはじめ多くの人との出会いがあり、会長だけが味わえる貴重な体験や独特の緊張が経験できました。また、同じ目的に向かって活動をしているものの、会員の想いが理解できずに苦労もしたことがありましたが、この 1 年を振り返ると大変充実した毎日をおくることができました。最終例会ですので、少し時間を頂き役員の皆様へ感謝の気持ちをお伝えしたいと存じます。

まずは、女房役の杉本政昭幹事には、就任 4 か月前に幹事予定者が休会する事態となり、急遽、幹事役を依頼しましたが、いやな顔するどころか一緒にがんばりましょうと、快く引き受けて頂き、1 年間私の横で大変落ち着いた会務運営を務めて頂きました。懸案でありました例会設営も効率的に行えるようになりましたが、時にはこんなことも言ったような雑用から、私のようなわがままな会長であるがために発生したメンバーとの意見調整には、大変ご尽力いただきました。例会時にプロジェクターが必要となった際は、スクリーンを運ぶために、わざわざ車を乗り換えて黙々と準備して頂いていた姿は今でも忘れません。今年 4 月に上海経由でタクアバへ行った二人の珍道中も大変良き思い出となりました。国際奉仕委員長として、今年度だけで都合 3 度もタイに訪問していただいたことも併せて心より感謝いたします。

続いて、SAA を務めて頂いた林田恒正会員には、全例会時間内には休憩時間を作らないようにとする私の要望に組んでいただきましたが、いつも私の挨拶が長くなり時間調整にはご苦労されたものと存じます。しかしながら、冷静沈着な例会進行のお蔭で、和気藹々とした中にも緊張感のある例会ができたものと思います。ありがとうございました。

次に、ロータリーの根幹となる奉仕委員会の担当理事を務められた方々にお礼を申し上げます。まずは職業奉仕委員会の林田千之委員長には、坂井高校の就職面接面接では面接希望者が 200 名以上に増え、集団面接の手法を初めて取り入れ、大変効率的に、また生徒にとっても緊張感のある面接を行っていただき、次年度以降の大変参考になったと思われます。竹吉校長からも大変役に立ったとの感謝の言葉を頂きました。また、先日の職場訪問においては、委員長の豊富な人脈により通常ではなかなか見学できない最新鋭の薬品工場の中まで見学できたこと大変感謝申し上げます。

社会奉仕委員会の三寺康信委員長には、年度当初、私から冬場の丸岡城のイルミネーション設置を企画提案したところ、関係者団体と色々と相談や調査をして頂き、結果的には実施には至りませんでしたが、文化財における設備等の設置にはなかなか障壁が多いことなど貴重な教訓となりました。街頭献血は当初の予定行事に入っていない不手際でしたが、献血推進会議に出られた後すぐに継続すべきと決断され、実行に移して頂き、その素早い実行力に大変感心いたしました。また、4 月に行われた桜まつりでのボランティア婚活においては、クラブ初ともいえる JC とのコラボ事業を見事成功に導きました。ロータリーメンバーの活動の場が少なかったことが反省点に上げられますが、JC メンバーとの親睦と連携を深めた画期的な事業であったと感じております。青少年奉仕委員会の東角操委員長におかれましては、昨年度に続いて、2 度目となるスタディーツアーインタイにおいて、6 名の丸岡高校生生徒に対して、大変熱心で積極的な活動指導が印象に残りました。いずれは高校生たちが大きくなってから、国際貢献にご活躍してもらうことを心より望んでいます。また、杉本政昭委員長の率いる国際奉仕委員会が申請していますグローバル補助金対象事業にも夜遅くまで対応して頂きました。是非次年度の事業成功に導いていただきたいと期待するところあります。赤ちゃん抱っこ事業については、会員の参加や告知が行き届いたことが残念と感じました。次にクラブ管理運営に携わった方々に感謝申し上げます。

プログラム委員会の柿本満雄委員長には私の要望を組んでいただき、経営者として興味ある外部卓話者を 15 回も集めて頂きました。講師との日程調整や卓話内容の打合せなどの前準備から、終了後の講師の接待など大変ご苦労をおかけいたしました。また、自らの息子さんを卓話者として迎えて後

継者側から事業承継について話していただくなど、ユニークなプログラムを提供していただき深く感謝申し上げます。親睦委員会の松井寛委員長には、今年初めてとなった三国との2クラブ合同のガバナー公式訪問、山中との懇親会、その他移動例会や、各種会合、親睦会における設営など大変幅広く動いて頂き大変お世話になりました。楽しい親睦の輪を広げて頂いたことに加え、杉本幹事と同様、タイに3度も訪問して頂いたりと、島原南RCの30周年の際の会員に対する献身的なお世話にも大変感銘を受けました。他の奉仕事業にも積極的に参画して頂いたことに深く感謝申し上げます。小見山修出席委員長には、いつも早めに例会場にお見えになり率先垂範して会員の出席意識を向上させていただきました。メーキャップ後の修正出席率も会報に載せ、毎例会で発表していただきました。規定審議の林田数一委員長にはRIの定款細則の大幅な変更に伴うクラブの規定改定にご尽力いただきました。草案の完成まで至りましたが、残りの細則や事務規定にも踏み込んで、早期に訂正をお願いしたいと存じます。二二二委員会の前川重雄委員長、ロータリー財団委員会の倉本正一郎委員長、米山担当の青池進副委員長には地道ながらも毎回到多くの寄付を集めて頂きました。二二二箱では委員会メンバーではないにもかかわらず急遽寄付者の発表のお手伝いをしていただいた笹埜博会員にも深く感謝いたします。お陰様で二二二箱は過去最高の寄付金となりました。ソングの北勇一委員長には、毎回自らのCDデッキを持参していただき、童謡なども含め毎回滞りなくソングの指揮を務めて頂きました。ありがとうございました。

クラブ広報委員会の奥村雅徳委員長には、雑誌広報IT委員会と会報委員会を指導して頂いたほか、理事会においても積極的な前向きな多くの意見を頂きました。また、会員間の親睦を図る目的で同好会設立について会報を通じて呼び掛け、それに呼応して今年度は麻雀同好会が発足しました。是非、長く継続することを祈っております。会報委員会の倉田教信委員長はじめ委員の皆様には、毎例会の写真撮影や卓話の原稿起こしまで、毎週大変ご苦勞をおかけしました。卓話を聞いた個人的な感想なども良く書かれており、毎回の会報が楽しみでした。ありがとうございました。次に雑誌広報IT委員会の友の解説ですが、実は毎月1回、例会事業として30分間、友の解説を行うかどうかは、年度開始時に大変悩むところでしたが、今年度はできるだけ会社等の経営上役に立つ卓話を多くすることを優先させていただきました。そのため、金定基委員長、下村晴夫副委員長、上屋敷貴紀委員には毎回大変短い時間になったことお詫び申し上げます。しかし、解説者が違うとまた新たにロータリーの友の魅力があることも発見した思いです。ありがとうございました。

会員拡大、退会防止委員会では水崎亮博委員長・三寺康信副委員長には、前半期で5名の拡大を実現して頂きありがとうございました。後期になって勢いが落ちてきて5月の例会で年度中にもう一人という水崎委員長の熱意に私自身も大変励まされましたが、私個人としての結果が出なかったことが残念でなりません。来年の40周年に40人達成にはあと5名の増強が必要となります。全員の力で達成したいと思っています。水崎委員長には他に、直前会長としてのアドバイスや、島原南RCの30周年の際には一筆啓上の本の贈呈など、大変機転の利いた自主的な活動にも大変感謝申し上げる次第です。ロータリー情報委員会の釣部勝義委員長には、例会開催曜日の検討のためのアンケートや炉辺会談をお願いしましたが、アンケート内容や炉辺会談の進行においては会長である私が仕切ってしまう大変いやな思いをさせていただきましたが、その後クラブフォーラムを開催していただき、会員のロータリーの会員同士の相互理解の大切さが一層深まったことと思います。また、じっくり時間をかけた新入会員のオリエンテーションの復活など、今後も長く続けるよう後進の指導をお願いしたいところであります。

会計をお願いしている山岸功会員にはこれから決算書の作成が残っており、まだお礼を述べるのは早いかも知れませんが、決算書の作成をお願いいたします。決算が出ましたら監査である釣部勝義会員に事業と会計の両面からじっくり監査をしていただきたいと存じます。

昨年末には、バスト会長の藤本豊会員と唯一の女性会員だった松田美由紀会員が退会し、大変さみしい思いをいたしました。今日の例会を最後に高嶋勝美会員と青池進会員が都合により退会されることとなります。お二方には体調には十分ご留意され、ますますご活躍されることを祈念申し上げますと共に、同じ釜の飯を食ったロータリアンとして今後も仲良くお付き合いして頂ければと望んでいます。長い間御苦労さんでしたが、いつでも復帰はウエルカムです。

復帰と言えば、高倉文寛会員は9月頃には今回は本当に復帰する見込みだということも報告させていただきます。

最後になりましたが、岡田理薫事務局員には年度当初から私がお願いした会員間の情報の共有を大事にしたいという思いを汲み取っていただき、いつも二二二笑顔で会員間のスムーズな連絡に対処して頂きました。他に名前を挙げなかった会員各位にも数多くの事業への出席やご寄付等の協力を頂き衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

以上でクラブ内の会員、事務局の方へのお礼とさせていただきますが、会長を1年間務めて感じたロータリー全体の印象や考え方について、最後ですのもう少し述べさせていただきます。

まず、地区や日本のロータリーに対する所感ですが、今年の刀根ガバナーはITを積極的に組入れ、「夢を語り、現在を刷新」という大変思い切ったスローガンを掲げ、改革、刷新に向け大変活発な活動をしたという印象です。ガバナー月信の内容や公式訪問の効率的開催、地区大会の演出やホームページの内容など、新しい取り組みが大変数多くありました。地区内97クラブ4600名の会員の意識までは一朝一夕にそう簡単に変わることはできなかったものの、彼がバストガバナーとして今後も改革を推し進めることで、地区のみならず、日本のロータリーはかなり変わって行くのではないかと期待とそうなるのではという予感がします。

刀根ガバナーの想いは、2650地区が出したRIの決議審議会提案に、日本地域におけるRIの中間組織の創設と、現在RI本部で翻訳しているロータリーの文書を日本事務局に移管を要請していることにも表れています。私自身も、RI自体がクラブの柔軟性を重視する方向に転換したのですから、日本語への翻訳などは母国とする国に任せ、その国の実態に応じて、実際に今困っている人を助け、世の中の変化に敏感に反応する奉仕団体となることを重視してはどうかと感じました。

この思いは、今年伺ったタイのタクアパでも感じました。スタディツアーで訪問したバーンターンナムチャイ財団が運営する孤児院には120名の幼児や児童が寄宿舎で寝食を共にしながら学校に通っていますが、この子供たち1人の里親として支援を求めているのは、1年間に2万円から3万円です。一方で、米山奨学会では外国人留学生720名に月に大学生で12万円もの奨学金を無償で給付しています。確かに米山が始まった50年前はこの制度の役割は時代にもマッチしていて、多くの青少年の国際理解に貢献したかと思いますが、奨学金を借りなければ大学に行けなくて困っている貧困日本人学生も多くなっている中で、今ロータリーは同じことを長く続けていることだけにとらわれすぎていないか、という大変複雑な思いにならざるを得ませんでした。変えなければならぬと思いつつも気が付いたら、役職を終えて、また新しい役員が同じことを繰り返しているようにも感じました。変えなければならぬことを変えずに、前例に従って同じようなことだけを繰り返しているようでは進歩はないと思います。

丸岡クラブの印象としては、今年度新しい感性を持った新しい会員が5名入会しました。そしてロータリーの事業のために海外に出るようなことは数年前までほとんどなかったと思いますが、スタイリッシュ＆ダイナミックの言葉通り、今では年に3回も半ば当然のように海外にも出るようになったのも大きな変化だと思います。例会開催日や開催時間を変えるなどなかなか難しいというクラブが多い中で、この短時間でフレキシブルに2度も変えていくのも丸岡クラブが持っている個性であり能力だと思います。

来年度金会長のスローガン『一人ひとりが個性と能力を伸ばし伸ばしと発揮しよう』のもと、会員同士がさらに語り合って、時代に応じた、そして地域から必要とされるクラブになるよう皆さんと共に努力し活動していきましょう。

この1年本当にありがとうございました。





高嶋 勝美 会員 在籍 22年4か月

思い起こせば、林田千之さんが会長の時に入会しました。その年度では、丸岡城で、姉妹クラブの締結式があったことを覚えています。

会長をしたことが一番の思い出です。中でも、竹内伸一さんに入会いただいた事は、とてもうれしかったです。幹事も2回経験しました。

人とのつながりに感謝です。年配の方と親しくお話する機会に恵まれた事は、一番の宝です。言い出せば、数多くの思い出があります。皆様ありがとうございました。



青池 進 会員 釣部会員と林田千之会員の推薦にて入会して、2年3ヶ月

もっと丸岡ロータリークラブに貢献したかったのですが、会社の都合にて、退会する事となりました。短い間でしたが、ありがとうございました。



委員会報告

6月26日(月)

◆ニコニコ箱◆

寄付者 22名

山下会長 会員の皆様今年度1年間、本当にありがとうございました。来年度も頑張りましょう！

杉本幹事 1年間が終わろうとしています。会員の皆様、山下会長、事務局岡田様、1年間ありがとうございました。

高嶋 長い間ありがとうございました。丸岡RCの今後の発展を祈っています。

青池 山下会長・杉本幹事1年間御苦労様でした。本日をもって、私丸岡RCを退会致します。2年3ヶ月間どうもありがとうございました。

【山下会長・杉本幹事・理事役員のみなさん1年間ご苦労様でした。高嶋さん、青池さん長い間ご苦労様でした。】

南 釣部 林田千之 小見山 前川重雄 北 下田
下村 柿木 三寺 松井 道木 上屋敷
金 (次の1年も宜しくお願い申し上げます)
東角 (皆様御協力ありがとうございました。)
倉本 (過ぎれば1年は早いものですね)
水崎 (次年度も皆さん力をあわせて頑張りましょう)



◆出席報告◆

出席委員会

例会日	会員数	出席	届有欠	届無欠	出席免除者 欠席	例会出席率
6/26	37	31	4	1	1	86.11%

【メーキャップ】6/26~6/30 事務局受付分

例会日	会員数	出席	メーキャップ	欠席者	出席免除者 欠席	修正出席率
6/19	37	24	4	6	3	82.35%

◆寄付金の状況◆

ニコニコ箱委員会 ロータリー基金委員会

	6月26日	累計	会費含む累計
ニコニコ箱	35,000円	1,067,000円	2,162,000円
ロータリー財団	0円	611,400円	
米山記念奨学会	0円	579,000円	

6/29 ロータリー財団 米山記念奨学会へ
後期寄付金を送金しました。皆様、ご協力をありがとうございました。

2016-17年度 例会出席 皆勤賞(〇〇) 15名 (敬称略)
山下会長・杉本幹事・林田千之・小見山・林田数一・北・下田・金
林田恒正・倉本・倉田・水崎・柿木・松井・西出

RYLA参加報告

青少年奉仕委員会

去る5/19~21 福井アカデミアホテルにて。東角建設(株)社員 梅田到様に参加されました。

青少年指導者育成プログラムに参加して。

ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)は、30歳までの若者を対象に、地元地域やその範囲を超えて活躍できる若き有望なリーダーを育てる事を目的としたプログラムで参加者は、90人ほどでした。プログラム内容は、初日の開講式では、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如に耐えかねたポール・ハリスがお互いに信頼の出来る公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたいという趣旨でロータリークラブが出来上がったと学びました。また、山折哲雄先生の講義や志道不二子先生の講義では、日本文化の大切さややりたいものになる意志の強さの意味について、自分なりに理解させてもらいました。

そして、課外研修では、永平寺にて精進料理・座禅・法話を体験させてもらいました。恥ずかしながら私は、福井に住んでいるにもかかわらず永平寺に行くのは、初めてで、何もかもが新鮮だし驚くことばかりでした。決して量は多くない昼食なのに、食材に感謝しながらゆっくり味わうと、こんなにも満足感・満腹感を得るのだと、日ごろテレビを見ながら携帯を触りながらと、何かのついでに当たり前のように食事をして気付かなかったことを精進料理を通して学びました。また、お寺の中での修行の厳しさそれに耐えて自分を高めよう・文化を守ろうとする姿勢に心打たれるものがありました。

毎晩学んだことをグループミーティングという形で色々な県から来た、様々な業種の人達と討論したり感想を聞いたりと同じ事を学んだはずなのに、一人一人ものとのとらえかたが違うので、学んだことにさらに深みが出て一人より仲間と協力する大切さに改めて気づきました。

こうした経験を得て参加する前と後では、少し自分が成長できたと思います。また、この研修を通して学んだ事、感じた事を大事にしてこれからの仕事に生かしていきます。





山下会長
最後の挨拶

水崎直前会長の
音頭で 乾杯！



Tani Rosso ♪

2回目の登場！吹奏楽部の高校生と共に
(^o^) みんなノリノリでした！



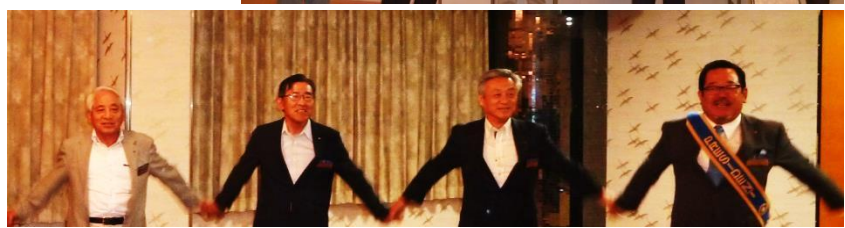
金会長エレクトの音頭で
一本締め！
よろしくお願いします。



北ソング委員長
最後の指揮で
恒例の「手に手つないで」



本日一番の
皆さんの
笑顔です。
!(^^)!



丸岡ロータリークラブ

会員数：37名 例会場：丸岡城のまちコミュニティセンター 例会日：毎週月曜日 19時00分

事務局：〒910-0251 福井県坂井市丸岡町一本田福所22-24-3 東角建設(株) 2F

TEL 0776-67-0410 FAX 0776-67-4811 E-mail webmaster@maruoka-rotary.com

クラブ広報委員会 委員長—奥村雅徳 会報委員会 委員長—倉田教信 副委員長—道木宏昌

委員—青池 進 前川 徹 瀬野友伸 笹埜 博